

# 北部保健所(中津地区) 感染症情報

(平成24年 第20週) (5月14日～5月20日)



**水痘**が少し増加しています。

先週に比べ、各感染症は同じか、または減少しています。

その中で発生件数の多いのは、**感染性胃腸炎**です。

細菌やウイルスが原因で起こり、下痢や嘔吐のため、脱水状態が起こりやすいのでこまめに、水分補給をして注意しましょう。石鹸でよく手を洗いましょう。

**百日咳**が2週続けて報告されています。

赤ちゃんにとっては危険な病気です。百日咳菌の感染により起こる急性呼吸器伝染病で、特有の咳が持続します。予防としては3種混合ワクチンです。

## 【お知らせ】

北部保健所では**HIV 夜間検査**を実施します。

・実施日 24年6月6日(水) 17時～20時(最終受付時間は19時)

・場所 北部保健所 1階 (中津市)

\* 電話での**事前予約**が必要です。

\* 検査は**匿名・無料**ですので、この機会にいかがでしょうか。

北部保健所 0979-22-2210

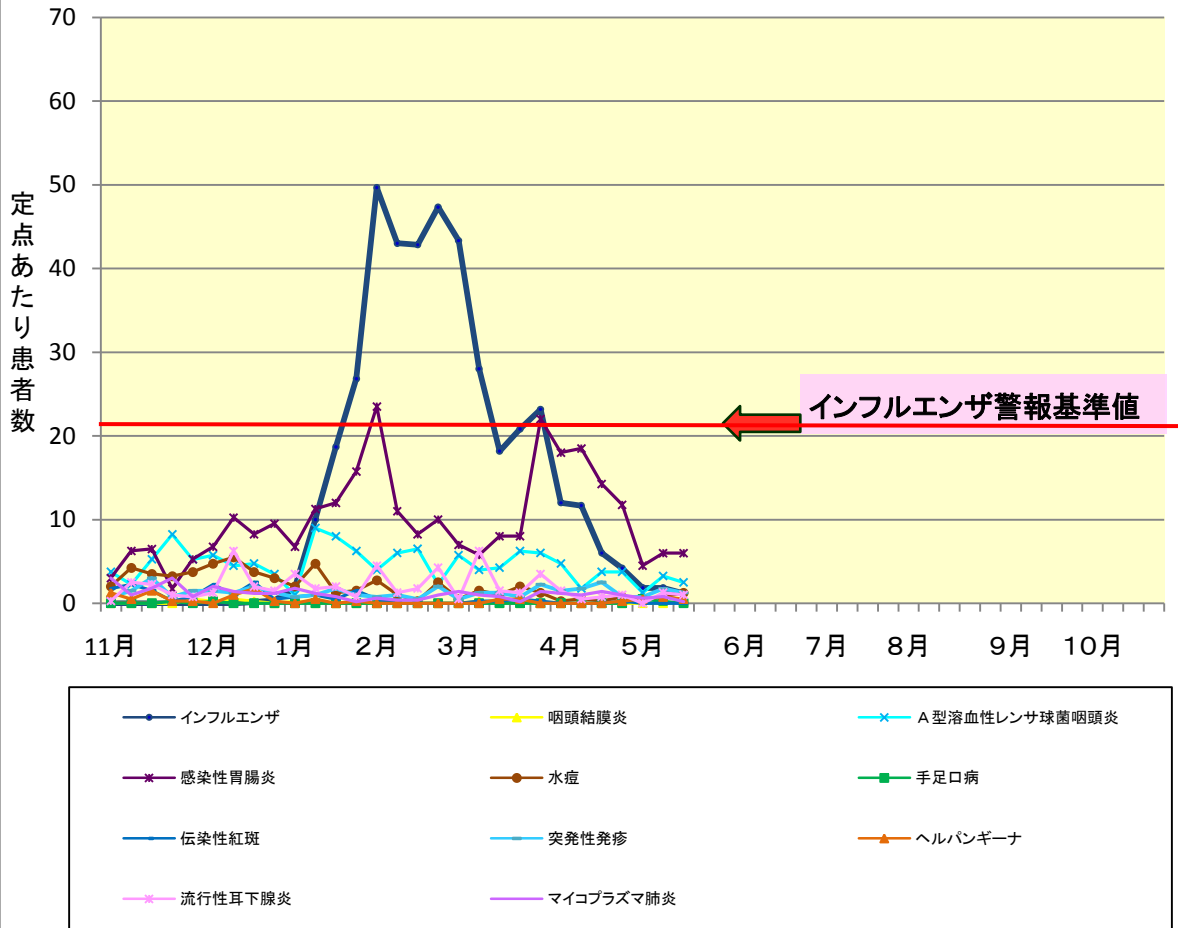


	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱(プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎
0歳					0.5	0.3			0.8					
1～3歳	0.3		0.3	0.3	2.3	0.5			0.5			0.5	0.3	0.2
4～6歳	0.5			0.5	1.5	0.5							0.8	
7～9歳				1.0	1.5									
10～14歳				0.5	0.3					0.8				
15～19歳	0.2			0.3										
20歳以上	0.2													
計	1.2		0.3	2.5	6.0	1.3			1.3	0.8		0.5	1.0	0.2
70歳以上(再掲)														
前週	1.8			3.3	6.0	0.8	0.3		1.8	0.8		0.8	1.3	0.8

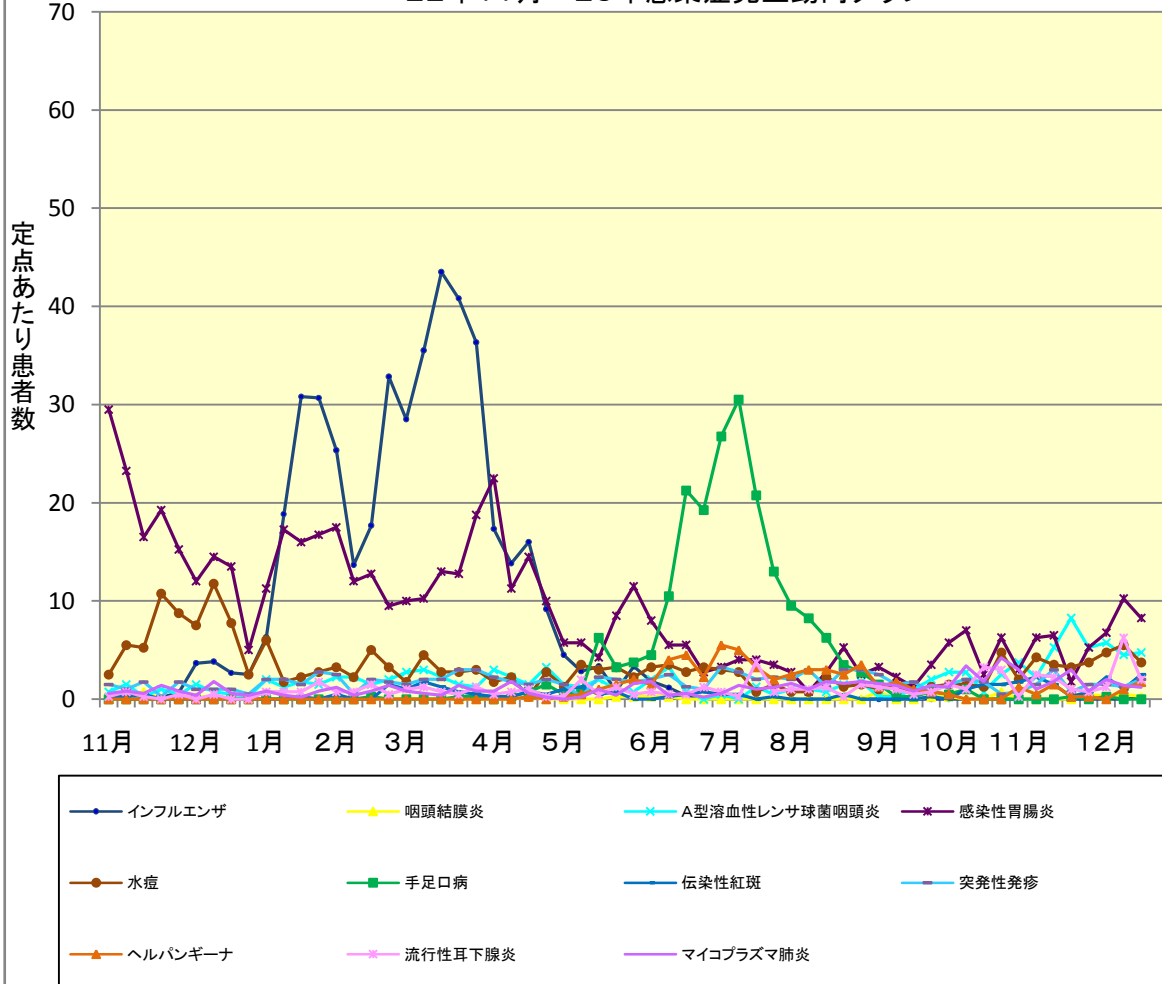
※指定された医療機関(定点)から報告された患者数を、1定点あたりに換算して計上しています。

(定点医療機関数 インフルエンザ6定点、小児科定点4定点)

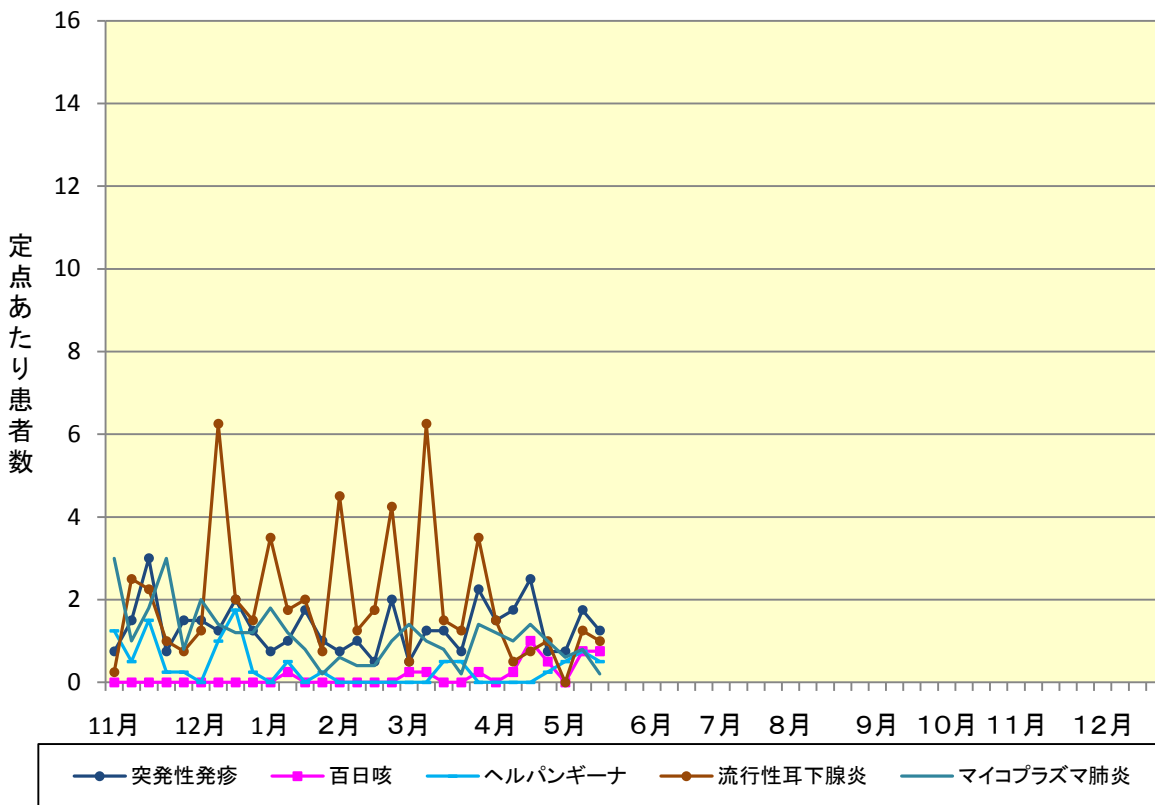
23年11月～24年感染症発生動向グラフ



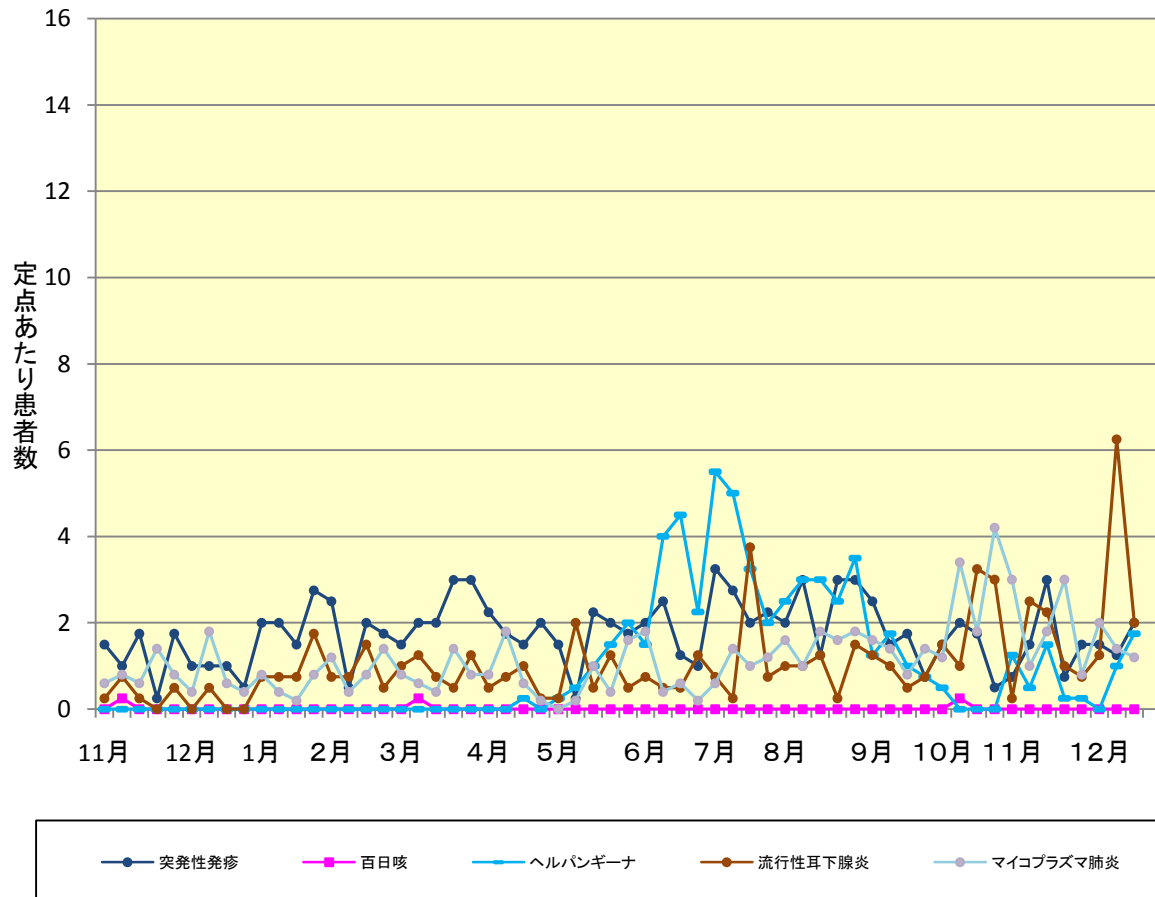
22年11月～23年感染症発生動向グラフ



23年11月～24年感染症発生動向グラフ



22年11月～23年感染症発生動向グラフ



疾患ごとの警報・注意報の基準値は以下のとおりです。

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—
感染性胃腸炎	20	12	—
水痘	7	4	4
手足口病	5	2	—
伝染性紅斑	2	1	—
百日咳	1	0.1	—
ヘルパンギーナ	6	2	—
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	—
流行性角結膜炎	8	4	—

(1定点あたりの患者報告数)

- ・「警報」: 大きな流行が発生または継続しつつあると疑われる
- ・「注意報」: 流行の発生前だと、今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高い  
流行の発生後だと、流行が継続していることが疑われる

お問い合わせ 北部保健所 0979-22-2210